



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.27
令和3年3月23日
文責：校長 福島

「地域を愛し、たくましく生き抜く子供の育成」



卒業式の翌日から、数名の卒業生が毎日ボランティアで朝のあいさつ運動に来ています。学校に感謝の気持ちを表すためにできることはないか自主的に考え、友達と誘い合っているそうです。6年間大切に育てた子供たちが卒業後にこのような行動がとれることをうれしく思います。

本校の教育目標は「地域を愛し、たくましく生き抜く子供の育成」です。しっかり育てていることを実感します。学校・家庭・地域が一体となって取り組んできた成果を、こうして1年の終わりに確認することができ、うれしい限りです。来年度もみんなで力を合わせて頑張りましょう！

先生の仕事 ～教頭・主幹教諭～

シリーズで、担任以外の先生を紹介してきました。最終回は教頭と主幹教諭です。おなじみの先生ですが、何をしているかとなると一番説明が難しい先生です。学校全体のことを常に考え、何でもやります。担任にも、そして私にも大変頼りになる存在です。

学校を自動車に例えるなら、教頭は運転手です。状況に応じてアクセルやブレーキ、ハンドル、各種スイッチを操作し、目的地に向かいます。主幹教諭はオイルです。細部まで浸透し、各パーツが円滑に動いてその役割を果たすように調整をします。

校長は、ナビゲーターです。目的地（教育目標）を設定し、周囲の状況を見ながら運転手に指示を出し、中継地点（重点目標）を經由しながらしっかりと目的地に到達できるようにします。

本年度は、「多様性の理解と自尊感情の高揚」という中継地点にしっかりとたどり着くことができました。来年度も新たな中継地点を設定し、目的地に向けて皆様と共に走り続けます。

